

優秀賞

無駄な時間から学んだこと

学校法人四天王寺学園 四天王寺中学校 1年 鎌田 華穂

夏休みに入り、私は今、夏休みの課題に取り組んでいる。今日の朝、一日の課題の進める量を決めたが、全く進んでいない現状だ。

「少し休憩してから」と、始める時間を後に後に延ばしていた。気が付くと、もう夕方になっていた。だが、何もできていない。つまり、私はかなりの時間を無駄にしてしまうという失敗をしてしまったのである。

時間を無駄にしてしまった理由は、やる気が出ないからだ。それを理由としてやらないと甘えている。では、どうしてやる気が出てこないのか。今思い返してみると、夏期課題をこなす中でも幾日かは集中して取り組めた日があった。ある日には、数日後に友達との予定が入っていた。またある日には、その日のすぐ後に家族旅行の予定が入っていた。また別の日には、好きな小説の最新刊の発売日が近く、発売されるとすぐに読みたいと思っていた。つまり、やる気が出て集中できた時の共通点はそのすぐ後に楽しみな予定が入っていることで、やる気が出ない時はそのような予定が入っていないことに気が付いた。

このことから、私は時間を無駄にしないようにするためのいい方法を思いついた。それはやる気が出るようにするために、楽しい予定を事前に用意することだ。その予定までに決めた課題をきちんと終わらせると、楽しいことにより多くの時間を使うことができる。そのため時間を作るうと思うので、やる気が出る。よって、課題に集中して取り組むことができるのではないか。

私はこの失敗を通して、時間はただ過ぎ去るのではなく、やることができるということを学んだ。次にやる気が出なくなった時には楽しみな予定を前もって明らかにしておく方法で、自分が集中できる方向に持っていきたい。そうすることで、時間を無駄にせず課題に取り組むようにしておこうと思う。